

姫路市には、古墳や集落跡などの遺跡が約 1,200 箇所も存在しています。令和6年度には大小合わせて約 500 件以上の発掘調査を実施しました。これらの調査を通じて、弥生時代から江戸時代までの約 2,000 年間に及ぶ幅広い時代の遺跡について、新たな発見がありました。本展では、その中から 2 遺跡 4 地点の調査成果をご紹介します。

令和6年度の調査

関ノ口遺跡：竪穴建物から掘立柱建物へ。

弥生、古墳時代から古代への建物変遷。

姫路城城下町跡：絵図の信憑性を語る根拠となるか？

姫路城南部で石垣がない外堀を確認。

■ 展示解説 ■

2026年 4月26日(日)

6月6日(土)

7月19日(日)

8月22日(土)

10:30～ / 13:30～
(各回1時間程度)

参加費：無料

場 所：姫路市埋蔵文化財センター展示室



関ノ口遺跡第18次調査全景(南から)

速報

姫路市重要有形文化財指定記念展

2026. 4. 26
2026. 8. 30

令和8年3月23日、姫路市教育委員会の議決を経て、新たに2件の考古資料が姫路市指定重要有形文化財に追加されました。

これを記念して、新指定資料の速報展示を開催します。

■ 見野古墳群6号墳出土品

古墳時代後期の双室墳から出土した鉄刀、馬具、耳環、玉、須恵器などで、小動物の足跡がついた珍しい須恵器が見つっています。

<種別> 考古資料

<員数> 一括

<時代> 古墳時代

■ 豆田遺跡出土木簡 附井戸杵墨書部材

木簡は、祈禱に使ったまじない札で、室町時代の井戸から出土しました。井戸杵には室町時代の武家特有の花押が書かれており、こうした祈禱と武家の関わりを示す貴重な出土品です。

<種別> 考古資料

<員数> 17点 附2点

<時代> 室町時代



見野古墳群6号墳出土玉類



見野古墳群6号墳出土須恵器



豆田遺跡井戸杵墨書拡大



豆田遺跡出土木簡